



# 上組っ子

今年度も残り1ヶ月余りです。

2月になりました。3日に「節分」4日は「立春」と季節と共に年度の変わりめを意識する時期となりました。2月は如月(きさらぎ)という旧暦名もあり、その由来は、寒さが残っていて衣を更に着るという「衣更着」だという説もあります。暦の上では春ですが、実際の春の訪れはまだ先のようにです。皆様、くれぐれも健康にお気を付けお過ごしください。



新型コロナウイルス感染症も変異株の影響により、感染者数の急激な増加(第6波)となっています。ようやく先が見えかけていたのですが…。学校も再度、厳しい予防対策が必要となりました。どうやら感染症拡大終結の「春」も、もう少し待つことになりそうです。今後も保護者や地域の皆様のご支援やご協力をよろしくお願いいたします。

1/22の突然の地震！皆様、被害はありませんでしたか。

突然の夜中の地震に驚きました。学校は、桑野内地区の貯水池が被害にあったため24日(月)の給食のみが弁当になりましたが、大きな被害はありませんでした。(地区の方の迅速な判断と対応のお陰で貯水池も翌日のお昼ぐらいには復旧しました。)地域の方の話から「熊本地震の時よりは…」という話が聞かれました。私は経験していませんが、校舎修復の跡等から被害の大きさの一端がわかります。災害はいつ起こるかわかりません。今回、日頃の準備等の大切さをあらためて実感しました。



なぞなぞです！

「交換(こうかん)しただけでお互いに増やすことができるものは何でしょう。」



2月1日(火)の全校朝会で子ども達に、上にある「なぞなぞ」を出しました。答えがわかりますか？日用品や食料品等の品物でないことはわかんと思います。授業をしている私たち教職員や授業を受けている子ども達は毎日のように、この交換を経験しています。ポイントは「交換」です。もらうだけなら受け取る側が増えて、得をするのは当たり前ですが、交換することで、お互いが増やすことができ得をするものといえば…

答えは、「アイデア(考え)」です。授業の中で、お互いの「考え」を伝え合い交換することで、自分の考えだけでなく相手の考えも増やすことができます。実は、授業の中で「考え」を発表し伝え合うことは、友達と互いに学力を高め合うことになるのです。よく聞き話す「考えの交換(交流)」のある学び合いでいっばいの授業を目指します。

「次の学年ではがんばりましょう。」  
「次の学年でもがんばりましょう！」



同じ事を言っているようですが、「は」と「も」ではかなり違います。「も」であれば、今の学年でもがんばってきたことを次の学年でもがんばるということになりますね。今年度末に「次の学年でもがんばりましょう！」と子ども達に話せるよう、残り2ヶ月をしっかりと指導していきます。がんばります。

## 2・3月の行事予定 (※予定ですので、変更される場合があります。)

**2月・G授業**— 3日(6年) 8日(3年) 10日(4年)  
15,21日(2年) 22日(1年) 24日(3・5年) 28日(1・2年合同)

3日(木) 五ヶ瀬中入学説明会  
6日(日) 学習発表会(7日：振替休日)  
8日(火) 新入児保護者説明会(午後)  
14日(月) スキー教室(5・6年)

**3月・G授業**— なし

4日(金) 参観日・家庭教育学級閉級式(午後)  
11日(金) お別れ遠足  
23日(水) 令和3年度「卒業式」  
24日(木) 修了の日  
(※ 離任式は、28日(月)の予定)



# 1月(2月初旬)の行事よい

## 1月24日(月)「命の大切さを考える学習」

「命の大切さを考える学習」の一つとして、ミケ所小学校の栄養教諭「吉田先生」に食育講話をしていただきました。



毎日の給食に感謝して、「いただきます！」

この2日前の深夜に大きな地震があり、吉田先生が、急遽内容を変更して、6年前の熊本地震が発生した当時の様子を取り入れ話してくださいました。

子ども達の心にも大きく響いたようです。

## 2月6日(日)「学習発表会」

参観者の制限や参観会場の分散化、動画配信等、先生方や吉村様、保護者・ご家族の皆様のご協力のお陰で実施できました。子ども達のがんばりが素晴らしかったです。

### 6名の6年生がリーダーシップを発揮！



### 1年生「梅と柿の学習」



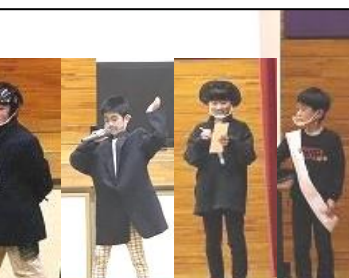
### 2年生「ヤマメの学習」



### 3年生「劇：3年とうげ」



### 4年生「郷土の偉人」



### 5・6年生「古戸野神楽」



### 教室での参観の様子



## 掲載・入賞おめでとう！



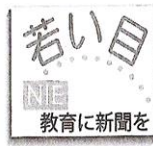
津隈 健(つぐま たける)

・R4 1月23日(日)「宮崎日日新聞」

**ロボット安全に**  
上組小5年  
津隈 健  
ロボットはあまり増やさない方がよいと考える。なぜなら、ロボットをたくさん増やすとほうぼうに散らかされたり人にもけがをさせたりしてしまうからだ。先日、お父さんと、ロボットの話をしたときに、最近では自動うんてんが増えているという話をきいて、べんりだと思った。しかし、ほうぼうに散らかるといなども思った。

社会の学習で、自動車のツトにたよりすぎてしまうことについて調べたとき、ロボットは、あまり人がハンドルをにぎらなく増やさない方がよいとも自動車が自動で走行しつたり、しょうとつを防ぐためにシートベルトやエアバッグをつけたたりしていることを知った。確かに、安全だけども、もしほうぼうに散らかると考えると、とても危険だと思った。

だから、ロボットは、べんりだけれど危ないこともあるので、安全性を考えて使う必要があると思う。あまり増やすすぎても、ロボット



NIE NEWSPAPER IN EDUCATION